

# 図画工作科 授業改善推進プラン

## 1 児童の実態（課題）

1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
<ul style="list-style-type: none"> <li>はさみやのり、クレパスなどの用具の基本的な使い方ができた。</li> <li>絵の具の使い方が身に付いていない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>自由な発想に踏み出すことが不安なのか、教科書の見本を真似する児童が多い。</li> <li>形や色の工夫をしようとするが、途中で諦めたりやる気がなくなってしまったりするなどして途中の状態であっても完成にして終わりにしたがる児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>よく見て描くことが苦手な児童がいる。</li> <li>取りかかりはよいが、最後まで意欲が持続できず、作品がきちんと仕上がらない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>説明を良く聞き、学習に取り組む児童が多い。</li> <li>個別に声掛けや助言をすると、素直に反応し、取り組む児童が多い。</li> <li>後始末を率先して行う児童が多い。</li> <li>用具（はさみ・のり・水彩絵の具）を正しく使うことができない児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好奇心旺盛で、意欲的に学習に取り組む児童が多い。</li> <li>後始末を班で協力して行う児童が多い。</li> <li>自分の表したいイメージに合わせて、形や色を工夫する児童が多い。</li> <li>見通しをもたせ、適宜個別指導が必要な児童がいる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>落ち着いて行動し、学習に取り組む児童が多い。</li> <li>制作に時間がかかったり、悩んだりして自分が表したいことに自信がなく心配になる児童がいる。</li> <li>じっくり考えながら、丁寧に作り上げることができない児童がいる。</li> </ul>

## 2 課題や授業の改善策

	1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>表したいことに合わせた材料や用具を使い、基本的な技能を身に付ける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>いろいろな形や色などに気付く。</li> <li>手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色や形、その組み合わせによる感じ、色の明るさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。</li> <li>板書や掲示物を工夫し、用具や素材などの安全な使い方を毎時間確認できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>色や形、その組み合わせによる感じ、色の明るさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。</li> <li>板書や掲示物を工夫し、用具や素材などの安全な使い方を毎時間確認できるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。</li> <li>表現活動の中で表したいことに合わせて工夫する創造的な技能を発揮できるように、既習内容を生かして活動できるように助言をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>動き、奥行き、バランス、色の鮮やかさなどを捉えることができるように、活動時間を十分に確保する。</li> <li>表現活動の中で表したいことに合わせて工夫する創造的な技能を発揮できるように、既習内容を生かして活動できるように助言をする。</li> </ul>
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童同士の交流や教師のアドバイスを通して、表したいことや表し方などについて考えられるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>触った感じやいろいろな形などや友達の作品に触れ、自分の見方や感じ方を広げることで自分のイメージをもてるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。</li> <li>適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。</li> <li>適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。</li> <li>適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>参考作品や完成までの制作の流れを提示し、見通しをもって活動に取り組めるようにする。</li> <li>適宜、途中鑑賞や児童同士の交流の時間を取り入れるなど工夫をする。</li> </ul>
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>操作過程の鑑賞や協力しながら作成する場面を設定する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>つくり出す喜びを味わうとともに、形や色などに関わり、自信をもって表現できるように、認め合う雰囲気を大切ににする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。</li> <li>形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えあったりする機会を大切にする。</li> <li>造形表現及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいことを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。</li> <li>形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えあったりする機会を大切にする。</li> <li>造形表現及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいことを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。</li> <li>形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えたりする機会を大切にし、相互理解や多様性の中の自己を理解することを促す。</li> <li>造形活動及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいことを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ふりかえりシートを使用し、自己の活動を振り返る機会の充実を図る。</li> <li>形や色、その組み合わせによる感じ、色の明るさなど、捉えたことを友人と確かめたり、言葉で伝えたりする機会を大切にし、相互理解や多様性の中の自己を理解することを促す。</li> <li>造形活動及び鑑賞の活動を通して、児童が実現したいことを大切にしながら活動できるように助言をし、自分の良さや可能性に気付けるようにする。</li> </ul>

※太枠内は、特に重視する内容